

公 式 記 録

マッチコミッショナー	主 審
田中 哲也	廣田 幸治

大会名：平成30年度 第40回 九州高等学校（U-17）サッカー大会（九州高等学校サッカー新人大会） マッチNo. [29]

日 時	2019年2月18日 14:00	試合形式	70分	会 場	大津町運動公園多目的広場ABコート（人工芝）				
天 候	晴れ	気 温	11.0℃	湿 度	51.0%	風	微風	ピ ッ チ 状 態	観 客 数
マッチコミッショナー	田中 哲也	副 審 1	園田 教人	第 4 の 審 判	白石 栄二	芝	人工芝	100人	
主 審	廣田 幸治	副 審 2	前田 憲志	記 録 担 当	杉本 陽一	表 面	乾燥		

私立鹿児島城西高等学校	3	2	前 半	0	1	私立筑陽学園高等学校
		1	後 半	1		
			延長前半			
			延長後半			

Kick off P K Kick off

交代 No.	シ ョ ー ト out時間	延後	延前	後半	前半	計	得点	選 手 名	番 号	位 置	位 置	番 号	選 手 名	得点	シ ョ ー ト				交代 No.	
															計	前半	後半	延前		延後
				1		1		戸 田 哲 平	1	GK	GK	1	野 中 友 柳							
				4	2	6	2	濱 田 康 成	4	DF	DF	3	益 永 望 光							
								飯 野 修 司	5	DF	DF	4	吉 村 颯 真							
								池 田 真 太 朗	11	DF	DF	5	大 塚 剣 士	2	1	1				
16	69分			1		1		山 下 玲	15	DF	DF	15	牟 田 愁 平							
				1	2	3		田 島 伊 霧 稀	6	MF	DF	18	船 原 零 央							54分
18	58分			1	1	2	1	山 縣 聖 大	7	MF	DF	19	上 甲 隼 輔							20
				2	2	4		西 田 崇 人	8	MF	MF	6	古 賀 健 琉							
								北 條 真 汰	10	MF	MF	9	過 能 工 太 郎							
12	59分							桑 原 滉 勝	14	MF	FW	10	寺 岡 聖 斗	1		1				
2	62分			1		1		宮 城 勝	9	FW	FW	12	岩 崎 巧	1	2	2				
								岩 切 真 人	17	GK	GK	17	井 本 匡 哉							
								立 石 雷 音	3	DF	MF	20	藤 隆 成							
								野 口 貴 仁	16	DF										
								和 田 秋 斗	2	MF										
								上 地 泰 雅	12	MF										
								田 島 聖	13	MF										
								今 福 晃 星	18	MF										
								永 井 利 政	19	MF										
								藤 田 啓 太 朗	20	FW										

警 告 ・ 退 場					監 督					警 告 ・ 退 場							
時間	区分	No.	氏 名	理 由	新 田 祐 輔					青 柳 良 久							
64分	警	11	池 田 真 太 朗	反則	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後				
					0	0	11	7	18	5	4	0	0				
							1	4	5	3	0	3					
							5	2	7	2	2	0					
							4	5	9	6	4	2					
							1	1	2	4	1	3					
							(1)	1	(2)	(4)	(1)	3					
									PK								

得点時間	得点チーム	No.	得 点 者	スコア	[得点経過記録例]：～ドリブル、→ゴロのパス、↑浮き球パス、×混戦、Sシュート、Hヘディング																		
17分	鹿児島城西	5	飯 野 修 司	1-0	左CK	10	↑	中央	×	こぼれ球	5	2タッチ以上	左足S										
24分	鹿児島城西	8	西 田 崇 人	2-0	左サイド	5	→	中央	相手FP	こぼれ球	8	HS											
57分	鹿児島城西	5	飯 野 修 司	3-0	左CK	10	↑	中央	×	こぼれ球	5	左足S											
61分	筑陽学園	12	岩 崎 巧	3-1	右サイド	10	→	中央	9	→	12	右足S											

P K 戦 の 経 過	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
-------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----

[試合時間] 前半：[:]、後半：[:]、合計：[ : ]

【戦 評】 【記入者：古木 裕】

決勝をかけた一戦は、両チームとも4-4-2のシステムでスタートした。序盤から互いに激しいプレスを掛け合い、相手の攻撃を阻止すべくハードワークを続ける中、攻撃は両チームともシンプルにロングボールを多用し、ツートップを起点にゴールへ迫る。ゴール前の精度で勝る鹿児島城西は徐々にチャンスも多く作り出し、試合を優位に進めていく。追いつきたい筑陽学園も後半システムを変更し、前への意識を高めるも鹿児島城西GK①戸田を中心とした堅守を崩せず、決定機を作ることができない。最後まで集中力が切れなかった鹿児島城西が決勝にコマを進めた。